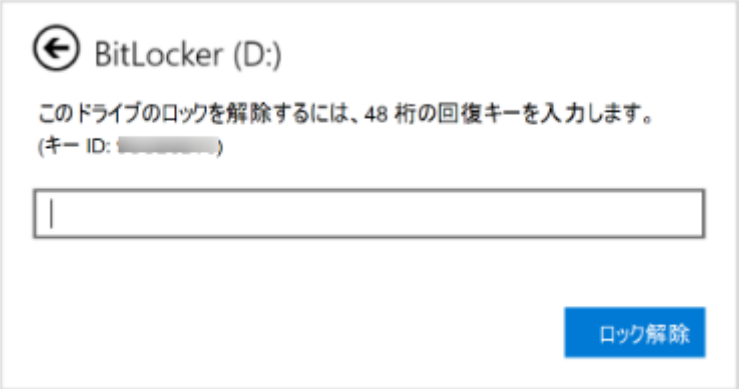
BitLocker 回復キーのバックアップ（Windows のみ）

BitLocker とは？

ドライブを暗号化してデータを保護する Windows セキュリティ機能のこと。
この暗号化により、誰かがオフラインでディスクにアクセスしようとしても、そのコンテンツを読み取ることができません。
BitLocker 回復キーを紛失してしまったたり、忘れてしまうと、重要なデータが復旧できなくなる可能性があります。

パソコンを使用していると、突然 **「回復キー」** の入力を求められる場合があります。



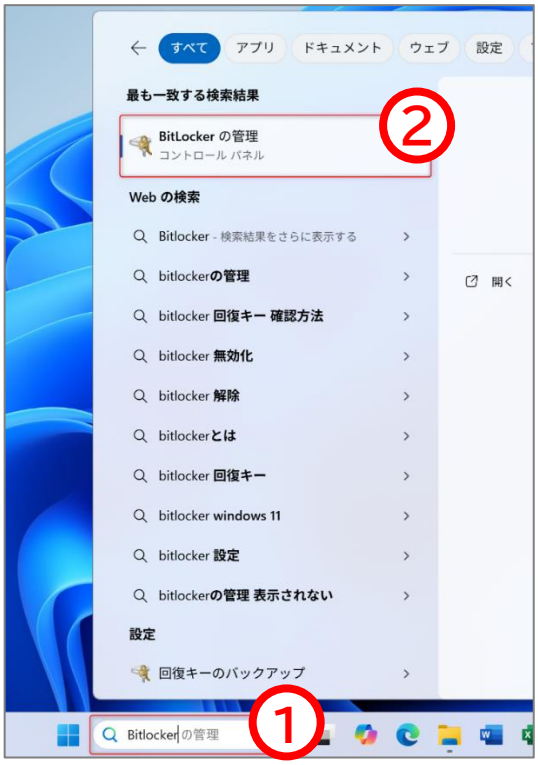
USB メモリを挿入した時、パスワードを間違えて入力した時など、セキュリティやデバイス上の問題が生じた際に、自動的に **「回復キー」** の入力画面が表示されます。

「回復キー」 が分からないと、最悪パソコンを買ったときの状態に初期化することになり、パソコンに保存されているデータは消えてしまいます。

この機能は、自分で設定していなくても
自動的に有効になっていることが多いよ。
「回復キー」 を求められた時に困らないように、
「回復キー」 をバックアップしておこう！

BitLocker 回復キーのバックアップ方法

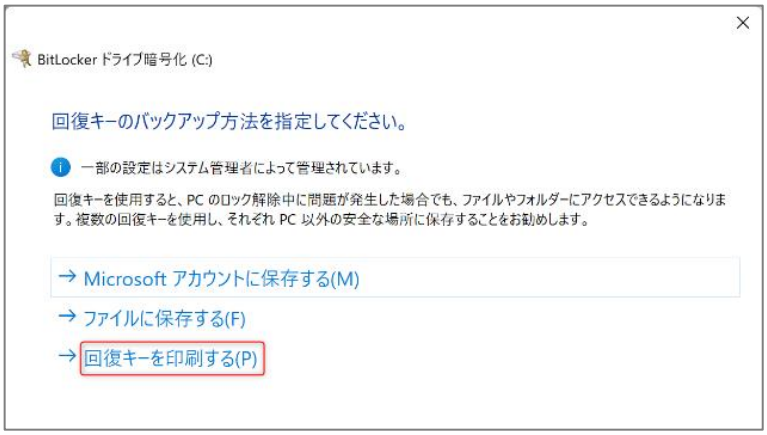
1.　画面の下、Windows アイコンの右の検索窓に **「BitLocker」** と入力して、**「BitLocker の管理」**をクリックします。



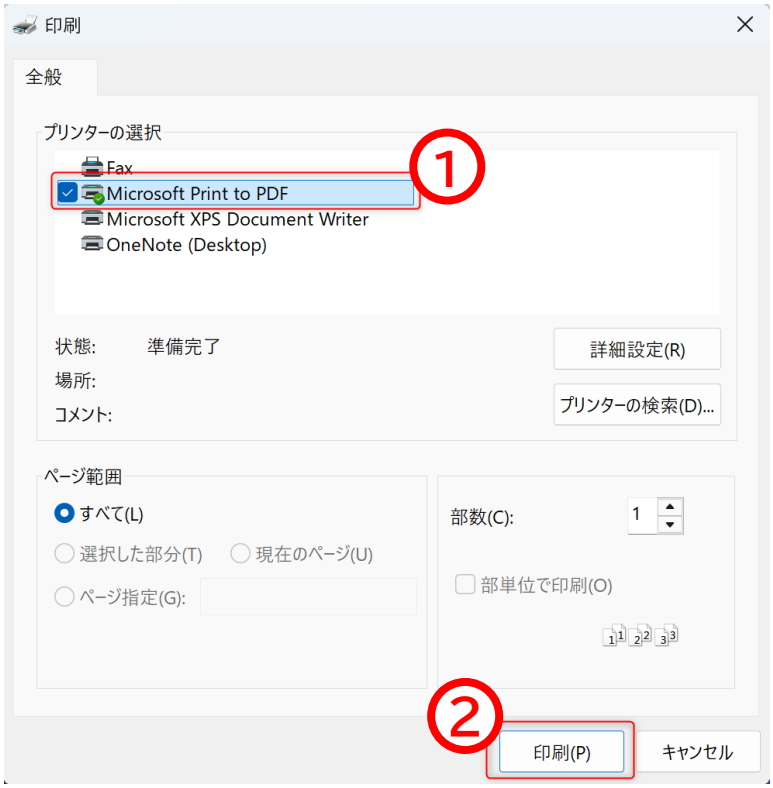
大切なデータを守るため、
「回復キー」をバックアップしよう。

2.　**「回復キーのバックアップ」** をクリックします。

3.　**「回復キーを印刷する」** をクリックします。

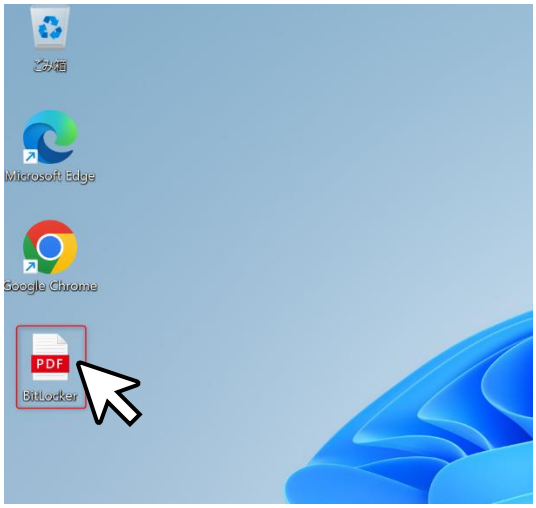


4. 「**Microsoft Print To PDF**」 を選択して、「**印刷**」 をクリックします。

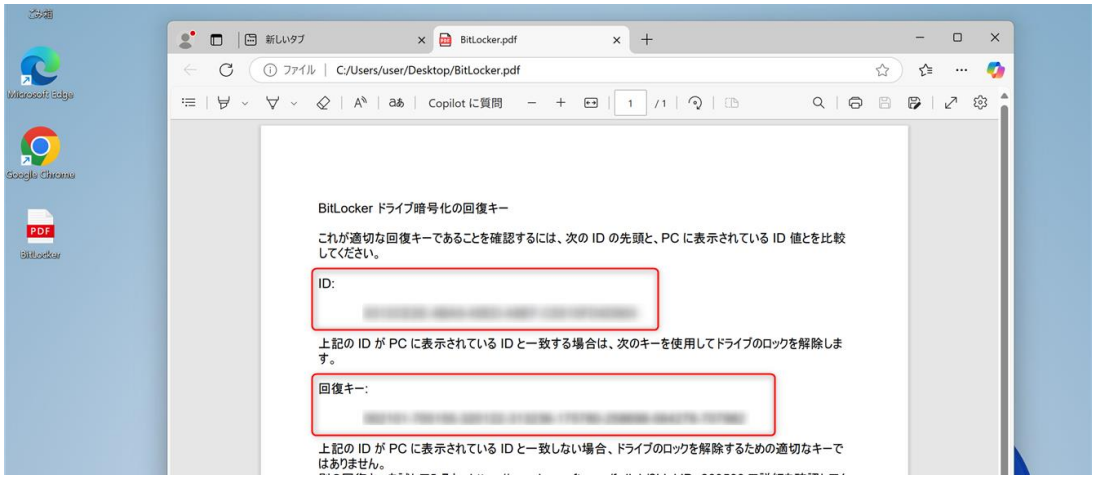


5. 保存先は 「**デスクトップ**」 を選択し、任意のファイル名を入力し「**保存**」 をクリックします。

6.　デスクトップに、先ほど保存したファイルがあるのを確認します。
保存したファイルを、ダブルクリックして開きます。



7.　**「ID」**の英数字と、それに対する　**「回復キー」**の数字 48 桁が必要になります。
保存したファイルを、以下の方法でバックアップします。



- スマホで写真を撮って保存しておく。
- ファイルを印刷して、その紙を保存しておく。
- ファイルを USB メモリにコピーして、その USB メモリを保存しておく。

※最低 2 種類の方法でバックアップするのをお勧めします。

！注意！
バックアップした後に、
BitLocker を無効　⇒　有効　にすると
異なる回復キー　が設定されます。その場合は、
再度新しい回復キーをバックアップしてください。